

平成 16 年 1 月 1 日

発行

梶原九州男総合後援会  
広報委員会

〒870-0023

大分市長浜町1-2-8  
(甲斐ビル2階)

TEL (fax): 097(537)1271

vol.20



# くすお会だより

梶原九州男総合後援会 『梶原九州男の政治活動を支援する会』  
http://www.coara.or.jp/ kusuo/ E-mail : kusuo@fat.coara.or.jp



# 新春特集号

## 新年あけましておめでとうございます

梶原九州男総合後援会

会長 高村友喜



ご家族共々素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年「梶原九州男総合後援会」の諸活動にご理解とご支援ご協力を賜り衷心より感謝とお礼を申し上げます。

特に昨年は梶原県議の二期目の挑戦の年であり、一昨年からの後援会活動や選挙活動にご協力いただき無事「当選」を果すことが出来ました。本当にありがとうございます。



## 謹賀新年

大分県議会議員 梶原九州男

皆様方にはご家族お揃いで、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私もお陰様で元気に新年を迎えることができました。

昨年は大変お世話になりました。四月の統一地方選挙（知事選、県議選、市長選など）十一月の衆議院選挙と選挙一色の年でありました。特に私にとりましては、自身の二期目の県議選に続き、大分市長選、また秋の衆議院選挙と、立て続けの選挙活動でありましたが、結果はすべての選挙で勝利することができました。これも偏に皆様方のご支援の賜と深く感謝しお礼

を申し上げます。これらの、選挙を通じて言える事は、国政では二大政党の流れが顕著になってきたこと。地方では情報公開を始め、住民参加をより一層進めていくことが求められていること、そして個人の利益よりも全体の利益を政治に求めていることが言えると思います。

さて今年の県政は「行財政改革プラン」の確実な実施が課題であります。県庁内外から大きな期待を集めて集約された「行財政改革プラン」を、県民の皆様、県職員、議会が一体となって確実に実行していくことが、将来の大分県にとつ

てきわめて大切なことであると考えます。私は議員の立場から、景気対策や雇用対策と併せ、心して取り組んでまいります。また、今年の夏は参議院選挙が行なわれます。日本の将来を見据え何としても「政権交替」を成し遂げなければならぬと考えます。その意味で今回の参議院選挙もまた大変重要な選挙であります。皆様の積極的な参加をお願いします。最後にになりましたが、今年も皆様方に取りまして、素晴らしい年となりますよう、ご祈念申し上げます。まして新年のご挨拶と致します。



## 歳月の重みを新時代へ

博多くすお会

会長 三宮義也

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、梶原九州男県議会議員が念願の再選を果たしました。これもひとえに皆さまの絶大なご支援の賜であり、厚くお礼申し上げます。

特に、昭和二十七年、竹田営業所の技術係におられた、大先輩の「三苦 勇さん」から励ましのお便りをいただき、感銘を受けるとともに、入社の際が思われました。

このころは、戦後の産業復興により電力需要は増加したものの、需給が不均衡のため供給制限が続き、良質な電気の安定供給が急務でした。当時の竹田営業所管内には、十六箇所の電業所が存在しましたが、宿直時には不点事故が二十件を超えるときもあり、配電線の強化が急がれていました。

電灯需要では、定額電灯契約が半数近くあり、定額電球の引き換えも受付業務のひとつでした。また、二十七年の電産秋季闘争は、労働運動民主化への第一歩となりました。

賃金と労働協約の改定闘争は、長期に亘り電源ストなど多様な争議戦術がとられました。闘争はマイナスに終始し、各方面から非難を浴びる事になりました。この結果、九州電労が誕生し、幾多の変遷を経て平成九年「九州電力労働組合」が発足するまで続きました。大分では一時期「九州電産」も組織されました。

このときから五十年・半世紀を過ごした今日、多くの人々の頑張りや報いられるとともに、次の新しい時代を迎えようとしています。これからは、将来に希望をつなぎ新時代を開拓することです。

本年は、国際社会におけるわが国の役割が焦点となり、平和と安全を考える歳でもあります。国内においては、年金見直しが進められ、将来の年金の在り方とともに現

## 明けましておめでとうございます

高崎山のA群は去り 新しい勢力で猿軍団を引っ張っています  
私たちが政治の夜明を信じ 新年を迎えました  
今年も宜しくお願いします  
平成16年 元旦



PHOTO:Kotobuki FUJIO



# 謹賀新年



## 新年明けましておめでとうございます

### おめでとうございます

大分市長 釘宮 磐

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

梶原議員さんをはじめ皆様方には、平素から市政の推進にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、全国都市緑化おいたフェアの開催やキヤノンの工場進出の決定、そしてJ1大分トリニータの

熱い戦いなど、本市の活性化と景気浮揚へ向けて、明るい兆しが見え始めた年であったと思っております。

今年も引き続き、市政オープン宣言のもと、「公正」「情報公開」「説明責任」「市民参加」の四つの原則を基本方針に、市民の皆様と一緒に、住んでいくことに誇りを持つ、活力に満ちた大分市のまちづくりに全力を傾注してまいります。

特に、大分駅周辺総合整備事業は、本市にとりまして一〇〇年に一度の大事業であり、大分の顔にふさわしい質の高い魅力ある都心形成の創造に繋がりますことから、厳しい財政状況の中ではありますが、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか梶原議員さんにおかれましては、今日まで培ってこられました豊富な知識と経験を存分に発揮され、県都大分市の新しいまちづくりのため、格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、県政の場でのより一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。

終わりに、皆様方にとりまして、この一年が幸せでよい年でありますよう祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



## 新しい時代に想いを馳せて

衆議院議員 吉良 州司

明けましておめでとうございます。

先般の衆議院選挙でくすお会のみなさんの絶大な御支援により衆議院議員として国家運営の一翼を担わせてもらうことになりました吉良州司です。

梶原さんとの出会いがなければ、今回の選挙に出ることも、勝利することもなかったでしょう。それ程、梶原さんは吉良州司にとって大きく、かけがいのない存在です。

梶原さんとは初対面の時から、十年來の知己、どこかの運動部の先輩、後輩であるかのような錯覚に陥るほど、政治に対する、社会に対する、そして人間に対する

するものの方、感性が共通しており、「やはり、この人とならやっていたい」と思った次第です。「やはり」と書いたのは、実は、梶原さんとお会いする前、私の尊敬する別々の知人二人から、「梶原という男は、どれだけ信頼しても信頼し過ぎることはない。これだけ信頼に足る男はいない。とことん信頼して付いていけ！」と全く同じことを言われていたからです。限られた時間の中でしたが、そのことを実感し、「同志」としての戦いが始まった瞬間でした。

今後、国民、県民の利権的な見返りを求めない新しい時代の真摯な要請を、将来世代の社会にも想いを馳せながら、ひとつひとつ確実に実現していく為、同志として、そして尊敬する先輩として梶原さんと共に坂の上の雲を見ながら歩いていきたいと思います。



## 農業は生命に溢れている

くすお会副会長 木下 光一

明けましておめでとうございます。昨年中の梶原九州男へのご支援に感謝いたしますとともに本年の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

昨年は冷夏に代表されるような異常気象でお米の不作が話題となりました。私も冷害に苦しむ青森の米づくり農家の方々にお目にかかる機会がありました。ニンニクや長芋などはあまり冷夏の影響はなく、しっかりとれているそうです。どちらも土の中で育つもので冷害の影響を受けにくいとすることで米づくりと組み合わせ

わけて農業経営をやられている知恵に感心いたしました。有機農法で土壌づくりをしつかりやった作物は冷害や病害虫の影響を受けにくいと言われています。土壌中に微生物が多く、それに食物連鎖でつながっている昆虫などをたくさん生かしている田んぼで稲が豊かな実りを見せてくれるのには感動してしまいます。環境というのはいかに換えれば皆さんの生命ということだと実感しています。さらにこういう田んぼが増えること

河川の水がきれいになってくるのです。土壌中を通り抜ける間に過剰な微生物によって有害細菌をコントロールされた水になるからです。昔から瑞穂の国と言われるほど水資源に恵まれたわが国ですが水道水をおいしく飲める地域がどんどん少なくなって来ましたが、仕方なくペットボトル入りの水を飲んでいくわけですがその値段はガソリンよりも高いのです。是非農薬や化学肥料を使わない農地がどんどん広がってこれることを期待したいものです。実は大分県の安心院町に国の農業特区が承認され、特区内では株式会社でも農地の利用が可能になります。私も何らかの形で有機農業の実践者として関わって行きたいと考えております。大分県がわが国の農業のモデルと言われるように生産者、消費者、加工流通業者の全てが利益を受けることができる仕組みを作り上げる第一歩を皆で踏み出しましょう。

## お知らせ

2月21日(土)13時30分より大分県教育会館にて、第5回「くすお会」総会を開催します。

詳しくは2月初旬発行の「くすお会」会報21号と一緒にご案内致します。

## 編集のほれ話

読者のみなさま あけましておめでとうございます。

年末・年始をゆっくり過ぎた方も何かと落ち着かない、忙しい年末・年始を迎えた方も今年こそは、夢のある心豊かな生活を送れることを期待したいですね。

梶原県議も、みなさまの力強いご支援・ご協力により、再選され二期目の活動を精力的に行っております。この紙面をお借りしまして、お礼を申し上げます。

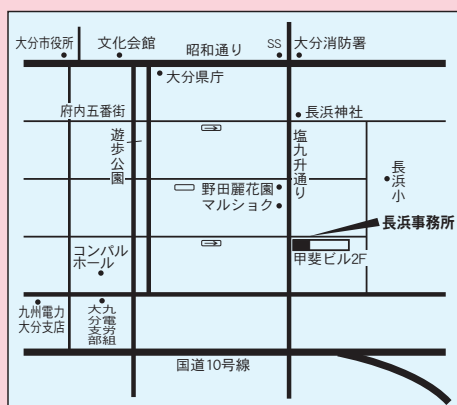
“ありがとうございます”国内経済は低迷を続け、テロに対する対策・対応や国際支援活動、年金問題、公的機関の民営化、地方自治体の再編等々。どれをとっても問題は山積したまま明確な対

応も方針も決まっておらず、先延ばし状態。

改革財源がなくて実行できないのなら、大分県議会を見習い議員報酬を大幅に削減してでも改革を押し進めるくらいの意気込みを見せてほしいものです。

暗い話のまま、新年号の編集後記を終わってしまうのは悔しいので、明るい話題をひとつ大分トリニータ バンザイ!! J1残留!!

今年優勝戦に絡み、ワクワクして最終戦を観戦出来るようにがんばってください。最後に、今年も読者のみなさまがご多幸でありますように。(政治改革を夢見る県民)



今年もよき一年のスタートを  
ほれお祈り申し上げます

平成十六年元旦

